

# ジオスペース館だより

## ★ 惑星の名前は どうやってつけられたの？【太陽系の惑星 その2】

昔の人が毎日、夜空に見える星の位置を記録していると、星座を形作る星たちを始めほとんどの星が、同じ位置関係を保って東から西へと巡るのに対し、道に迷うかのようにうろろと不規則な動きをする明るい5つの星があることに気づきました。惑星の「惑」の字には「迷う」という意味があるので、これら5つの星は「惑星」と呼んで、他の星とは区別されるようになりました。

この5つの惑星は肉眼でも良く見えるため、古代中国では、この世界を構成する5つの要素（木・火・土・金・水）を司る星であると考え、要素の名前をそれぞれの惑星に当てはめて名づけました。私たちが水星・金星・火星・木星・土星と呼ぶ惑星は、中国での呼び名が伝わってきたものです。

一方、古代ギリシャでは、この不思議な動きをする5つの惑星に、ギリシャ神話の神々の名前をつけました。水星は太陽のまわりをまぐるしく動くので、神々の命令を伝える伝令の神「マーキュリー」。金星は明るく美しく輝いているので、美の女神「ビーナス」。火星は不気味な赤い色から、戦いの神「マーズ」。木星は黄色の重々しい輝きから、神々の王様「ジュピター」。土星はくすんだ黄色の光に、土と農耕の神「サターン」と名づけられました。

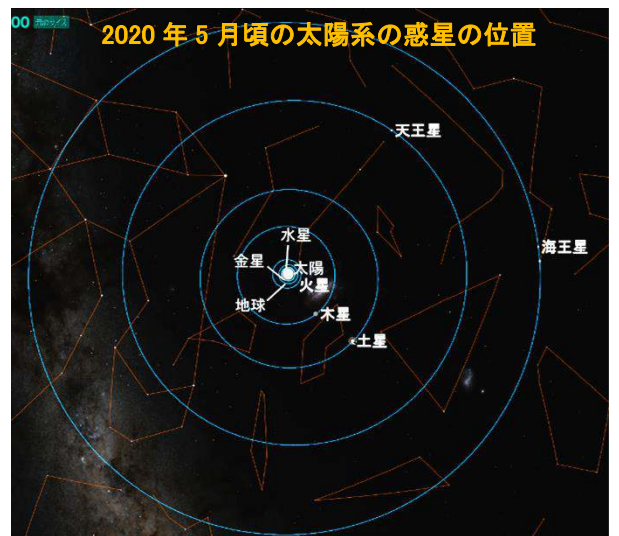
神々の画像はパブリックドメインの名画より



太陽系には8つの惑星がありますが、私たちの地球を除く残り2つの惑星（天王星と海王星）は、太陽から遠く暗いため、肉眼ではほとんど目立たないので、18世紀以降に望遠鏡により発見されました。発見者が西洋の方なので、名前も西洋の神話の神様の名前がつけられ、天王星はその青い色から、天空の神「ウラヌス」、海王星はさらに深い青色から、海の神「ネプチューン」という名前がつけられ、日本名もそれに因んだものとなりました。

## ★ 太陽系は、とっても広い！ ★

太陽を回っている惑星の現在の位置は、右の図のようになります。青色の円はそれぞれの惑星が太陽の周りを回る道筋（軌道）です。水星・金星・地球・火星はほとんど点にもならないくらい小さく描かれていますが、これでも各惑星の大きさを実際よりも500倍も大きく描いています。望遠鏡が無いと、巨大な木星も土星も点のようにしか見えないくらい、太陽系は驚くほどに広いのです。

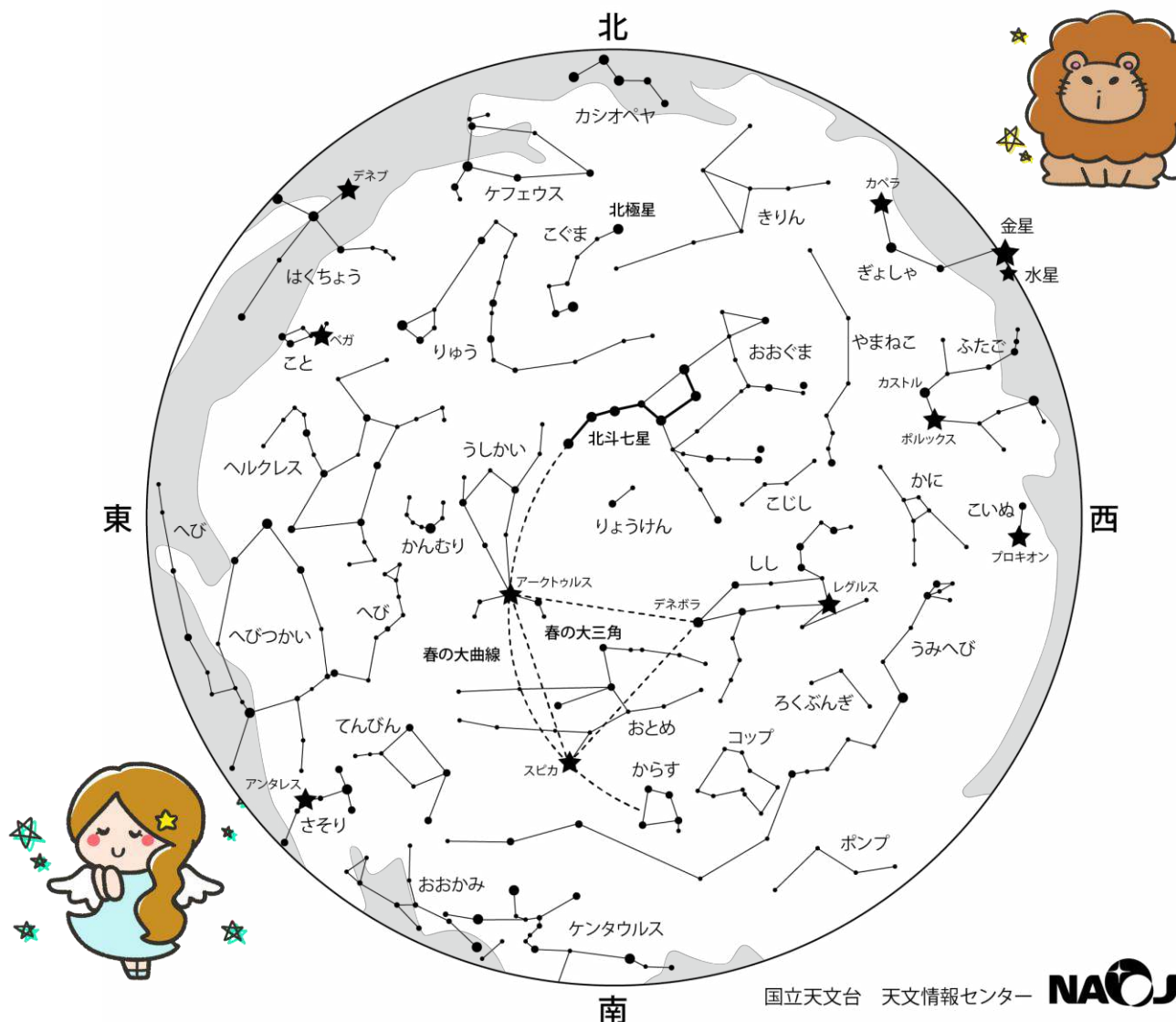


星図はステラナビゲーター11 を使用して 50AU の位置から作図

### ☆☆ 5月のプラネタリアムのご案内 ☆☆

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ジオスペース館は6月1日まで臨時休館中です。

# 5月下旬午後8時頃の星空



## ★ 5月下旬の主な天文現象

20日(水) <small>しょうまん</small> 小満	24日(日) 細い月と水星と金星が接近
22日(金) 金星と水星が <small>さいせつきん</small> 最接近	30日(土) <small>しょうげん</small> ● 上弦
23日(土) ● <small>しんげつ</small> 新月、 <small>すいせい</small> パンスターズ彗星 (2017 T2) が M82 に接近	31日(日) アトラス彗星 (2019 Y4) が <small>きんじつてん</small> 近日点を <small>つうか</small> 通過

## ★ 宇宙ステーション(豊川での主なデータ 5/15~31) ※ 下記時刻は、予想値です

◇ 5月16日(土) [見やすさ ◎]	4:01 北西	~	4:08 南東
◇ 5月16日(土) [見やすさ ◎]	20:42 西南西	~	20:48 北北東
◇ 5月17日(日) [見やすさ ◎]	3:13 北西	~	3:20 東南東
◇ 5月17日(日) [見やすさ ◎]	19:54 西南西	~	20:00 北東

豆知識：国際宇宙ステーション (ISS) は、明るい星が動いているように見えます。飛行機のような赤緑ランプの点滅はありません。